

リュウキュウツルグミ

か めい
科名 グミ

べつ めい
別名 ヒロハツルグミ、
オキナワグミ

がく めい
学名 *Elaeagnus liukiuensis*



く ぶん
区 分 もくほんるい
木本類

ぶん ぶ
分 布 かごしま 鹿児島
あまみおおしまいなん (奄美大島以南)、
おきなわ 沖縄

は かたち
葉 の 形 だえんけい
楕円形

は ふち
葉 の 縁 ぜんえん
全縁

は さき
葉 の 先 えいせんけい
鋭尖形

は しゅるい たんよう
葉 の 種類 単葉

は つきかた ごせい
葉 の 付方 互生

は き ぶ えんけい
葉 の 基部 円形

み しゅるい かくか
実 の 種類 核果

は な がくいろ しろいろ
花 ・ 萼 色 白色

せつ 説
めい 明
日当たりのよい山地や林縁などに生育する常緑の低木です。枝は伸び、小枝は銀色を帯びた赤褐色をしています。葉は互生し薄い楕円形で長さ5-8cm、幅3.3-3.8cm程度です。葉先は細い鋭尖形、葉の裏は銀色を帯びています。花は白色、腋生で小さく、2個から6個の花が総状に集まって咲きます。実は楕円形、長さ約2cmです。